

安岐ダム



大 分 県
国東土木事務所

事業の概要

安岐川は、大分県国東半島南部大田村の波多方峠（標高481m）にその源を発し、山間部を東に流れ、途中、朝来野川、季川、吉松川と合流しながら安岐町を貫流し、伊予灘に注ぐ、流域面積92.6km²、流路延長18.5kmの二級河川です。

流域は瀬戸内海型の気候を示し、降雨量は梅雨期、台風期に多く、その時期の豪雨により災害が発生しています。特に昭和36年10月の集中豪雨では、死者24名、約17億円の被害を出すに至りました。安岐川災害復旧助成事業はこの災害の直後、この地域の改良復旧を目的とし、安岐川本川の下流部約4kmの区間を、総工費3億8千万円余を掛けて行い、昭和41年度をもって一旦竣工しました。しかし、この計画規模は小さく、地元民の間で、根本的な治水対策が望まれていました。

これを受けて、治水の安全度を見直した結果、日雨量375mm、時間雨量77mmまでの雨量に対して、安全確保の可能な、安岐ダムを中心とする基本計画が作成されました。

桜の安岐ダム公園



△下流側から

上流側から▷



ダムの諸元

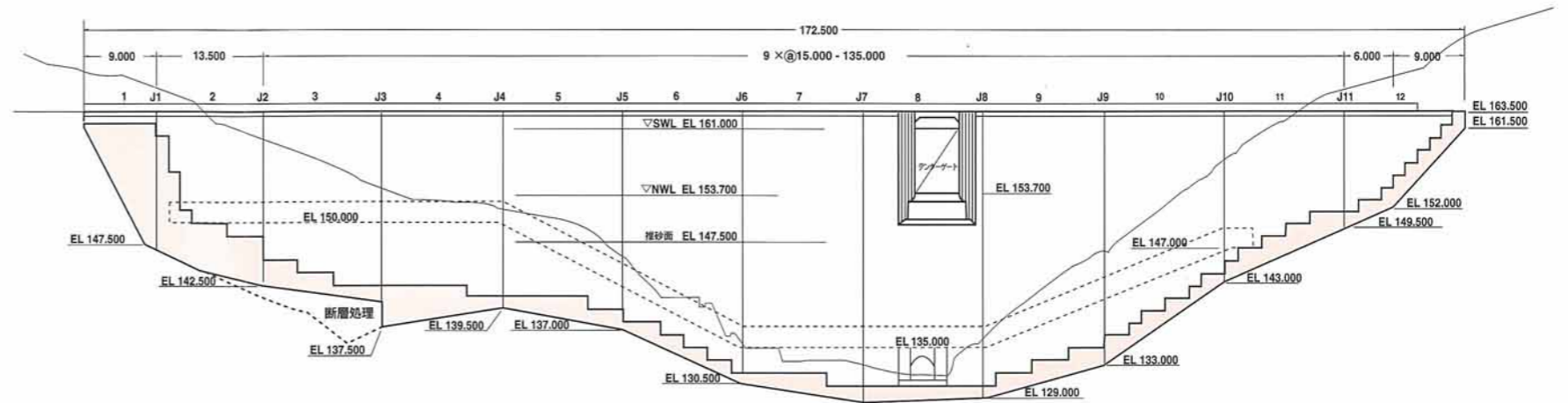
ダム本体

河川名	安岐川水系安岐川(2級河川)
位置	左岸：東国東郡安岐町大字矢川
	右岸：東国東郡安岐町大字矢川
型式	重力式コンクリートダム
堤高	35.0m
堤頂長	172.5m
堤頂巾	3.0m
最大敷巾	28.05m
法勾配	上流 1:0.1
	下流 1:0.68
堤体積	51,000m ³
非越流部標高	EL 163.50m
越流部標高	EL 153.70m
地質	黒雲母片麻岩、集塊岩等

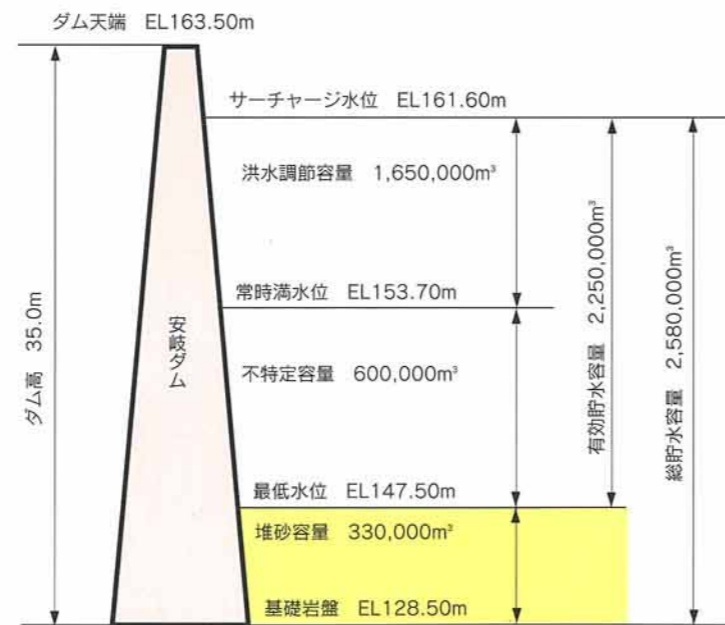
貯水池

集水面積	16.50km ²
湛水面積	0.3km ²
総貯水容量	2,580,000m ³
有効貯水容量	2,250,000m ³
洪水調節容量	1,650,000m ³
不特定容量	600,000m ³
堆砂容量	330,000m ³
設計水位	EL 162.10m
サーチャージ水位	EL 161.60m
常時満水位	EL 153.70m
最低水位	EL 147.50m
基礎岩盤標高	EL 128.50m

ダム上流面図



貯水池容量配分図



放流施設

クレスト	テンターゲート 高さ8.15m 巾5.5m 1間
低水放流施設	スルースバルブ Ø250mm(EL 145m) Ø100mm(EL 153m) 各1条

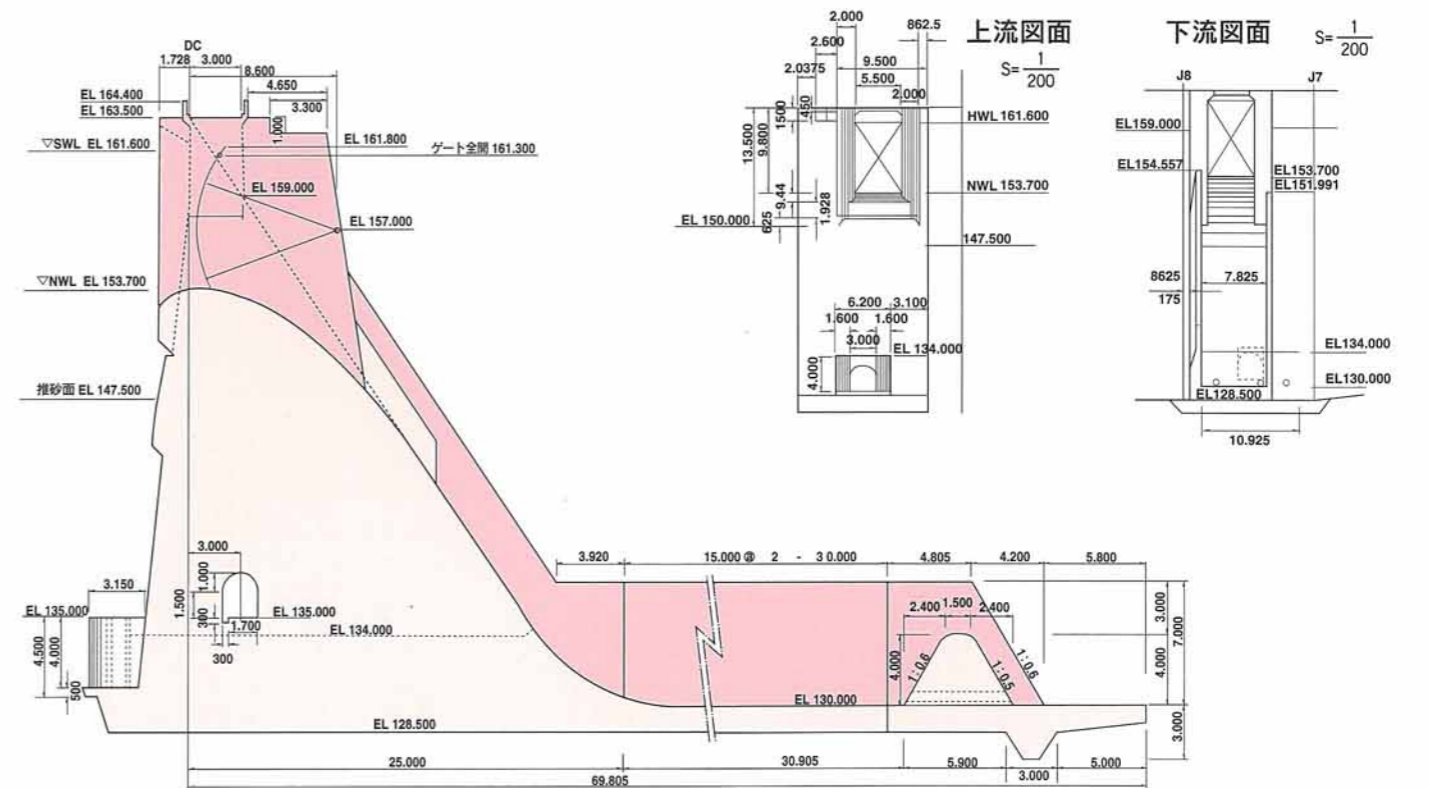
水没補償

水没個数	5戸
土地	田15.2ha、畑1.2ha、 山林12.6ha、その他1.2ha
道路	補償県道1.7km、工用道路0.9km、 補償林道2.7km

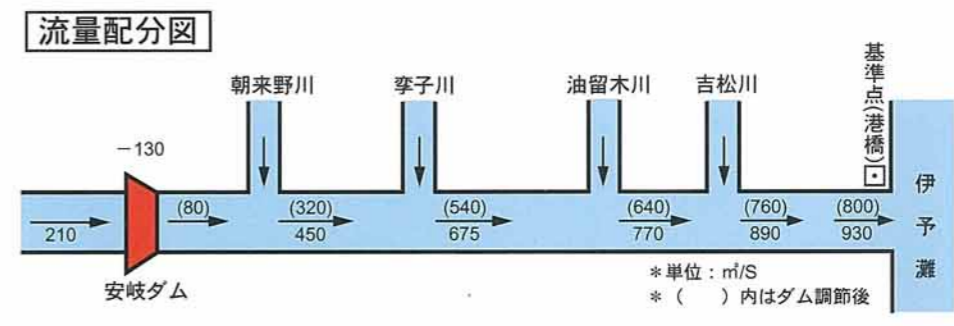
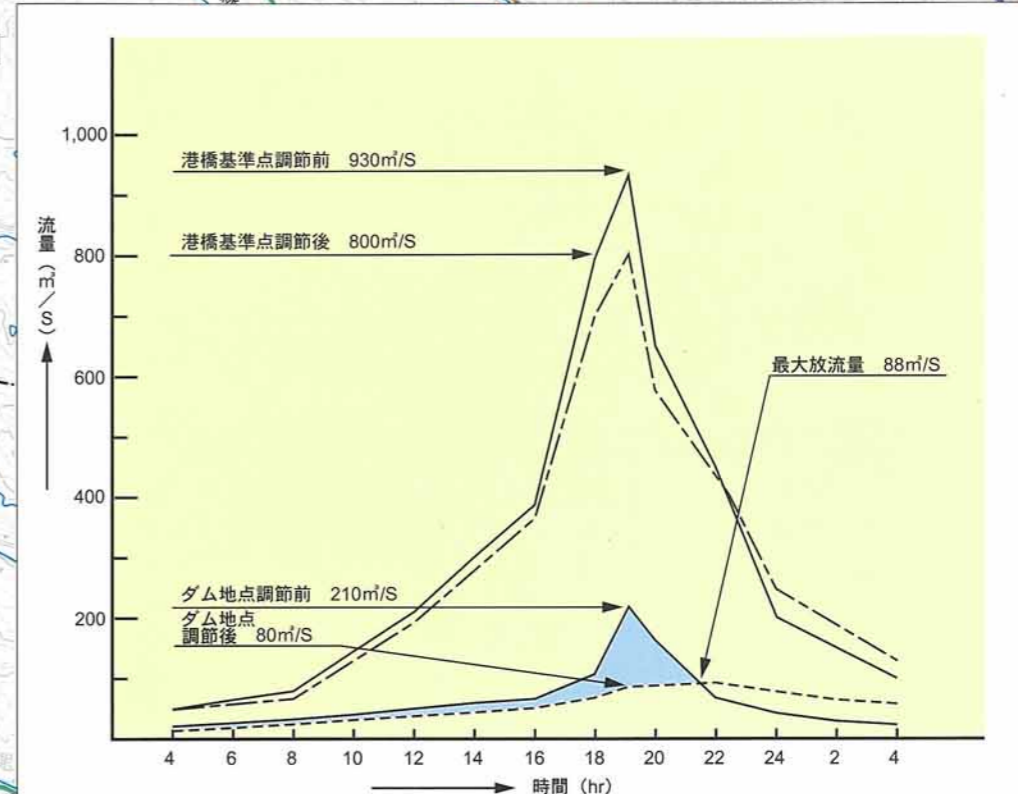
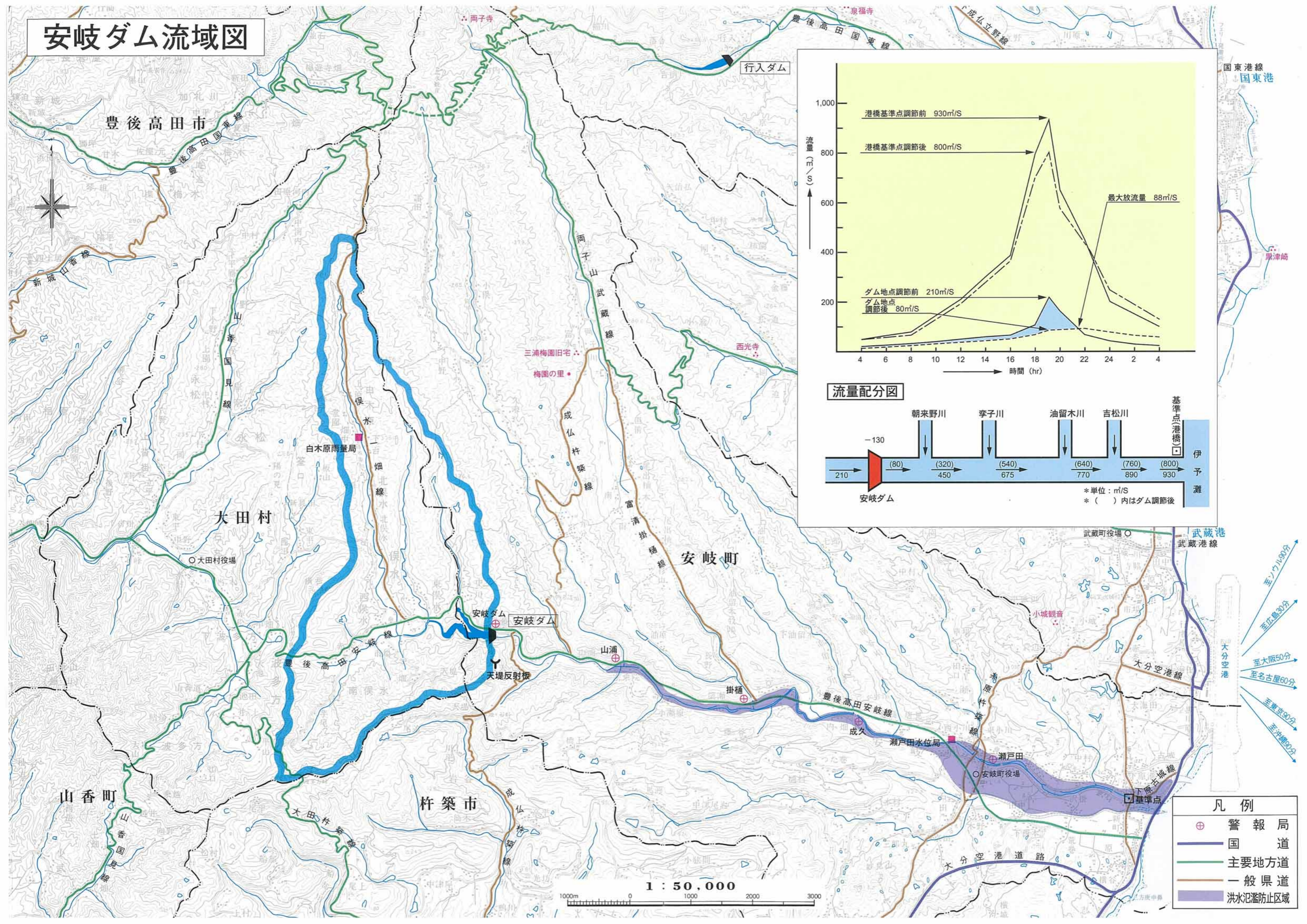
年度別事業費 (単位：千円)

年度	事業費	区分	事業内容
昭和42年度	20,000	実調	地形測量、地質調査、本体設計
昭和43年度	50,000	建設	用地補償、工用道路工事
昭和44年度	190,000	建設	工用道路工事、用地補償本体工事(仮設備、堀削)
昭和45年度	360,000	建設	本体工事、付替県道工事、補償林道工事
昭和46年度	680,000	建設	本体工事、ゲート工事、テレメーター工事
合計	1,300,000		
昭和51~53年度	63,000	ダム環境整備事業	整地、植生整備、管理歩道
平成6~9年度	772,269	堰堤改良事業	放流制御設備、通信警報観測設備、電気施設整備

ダム標準断面図



安岐ダム流域図



- 凡例
- ⊕ 警報局
 - 国道
 - 主要地方道
 - 一般県道
 - 洪水氾濫防止区域

1 : 50,000

0 1000 2000 3000

至ソノワル90分

至広島30分

至大阪50分

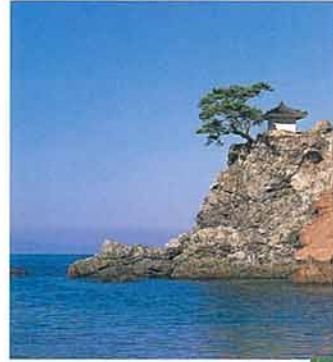
至名古屋60分

至東京90分

至沖縄90分



あかねの里
(国見町)



観音崎
(姫島村)



姫島村
千人堂
姫島灯台
姫島盆踊り



長木家国東塔
(国東町)



菜の花マラソン (武蔵町)



両子寺 (安岐町)



三浦梅園旧宅 (安岐町)



国東半島サイクリングロード

安岐ダムに関するお問い合わせは
 ■ 大分県国東土木事務所
 〒873-0504 大分県東国東郡国東町大字安国寺786-1
 TEL 0978-72-1321
 ■ 大分県安岐ダム管理事務所
 〒873-0353 大分県東国東郡安岐町大字矢川
 TEL 0978-66-0047